

将来構想「平塚市民病院 Future Vision 2017-2025」（素案）に対するパブリックコメント実施結果

- 1 募集期間 平成29年2月6日（月）から平成29年3月7日（火）までの30日間
- 2 閲覧場所 平塚市民病院、市役所本館（市政情報コーナー及び企画政策課）、豊原分庁舎、各公民館、各図書館、ひらつか市民活動センター、駅前市民窓口センター、各福祉会館、保健センター、子育て支援センター、消防庁舎
平塚市ホームページ、平塚市民病院ホームページ
- 3 提出方法 郵送、FAX、電子メール、持参
- 4 意見件数 個人：4人 7件
団体：1団体 1件
- 5 意見及び意見に対する市の考え方 下表のとおり

番号	ページ	該当箇所	お寄せいただいた意見	市の考え方	対応
1	26	診療機能	平塚地域でのがんの中核病院になって欲しいと思います。医療スタッフ、医師、看護師さんのほか、検査、病理の充実も必要です。今迄必ずしも充分とは言えないところがあったと思います。血液内科の充実も必要ではないかと思えます。	当院は、現在「神奈川県がん診療連携指定病院」として、神奈川県から指定を受けております。将来構想においても、「がん医療の充実」を掲げており、胃・大腸・肺・肝臓・乳がんの5大がんをはじめ、これまで力を入れてきた泌尿器科・婦人科領域のがんについても、高い診療レベルを維持し、手術、化学療法、放射線治療とそれらの集学的治療に加えて、緩和ケアにも力を入れることとしております。 医師の確保が難しい中、平成29年1月に病理診断医を採用するなど、今後も地域ニーズに応えられるよう体制整備を行ってまいります。	参考
2	26	診療機能	市民、特に高齢者の「健康診断」を市民病院の新しい設備をフルに活かして、頻りにやって欲しい。検診による早期発見は、結果として市の財政において医療費支出の削減に必ずなると思えます。	健康診断やがん検診については、現在も行っておりますが、市内の医療機関や行政と役割分担の中で、当院の機能を活用できる範囲内で実施してまいります。	参考
3	25, 26 33	ビジョン 診療機能 地域包括ケアにおける役割	高齢社会の到来で、老年内科の設立が望まれています。今後認知症専門医（日本認知学会や日本老年精神医学会認定医）が常時いるよう希望します。	超高齢社会の到来により、認知症を含めた高齢者の診療は重要であると考えております。今後も、高度急性期・急性期病院として体制整備に努めます。	参考
4	42, 43	計画職員数	安全確実で最新高質の高度医療の提供という基本方針の下、がん治療の充実を目指され、新聞でも取り上げられている高性能放射線治療装置を導入されたことと思います。 市民病院を利用させていただくものとして、大変安心してかかれる一つの要素を感じています。必要な人材を採用し、育成し、適材適所に人事配置をすることで、医療の質や患者満足の上を目指すと将来構想でもありますが、高機能治療器を扱うのは、私が知り得る限り、医師と技術員と認識していますが、人員変更がなさそうですが、失礼ながら、患者が安心してかかれる人材体制なのでしょうか。 昨今の人件費削減は、医療機関は特別とは言えないと思えますが、医療事故など招かなければと感じ、心配しています。	人材確保及び適材適所への人事配置については、将来構想に掲げた「ビジョン」実現に向け、医療の質や患者満足の上を図る上で大変重要であると考えております。そのため、地域の医療ニーズや病院機能と診療体制に応じた人材の確保等については、医療安全も考慮の上、必要に応じて検討したいと考えております。 また、医療技術部門についても、診療報酬改定等の医療政策の転換や医療環境の変化等を踏まえ、必要な場合は人員確保を検討します。 なお、43ページ「(イ)計画職員数」の欄外に「職員数は、計画人員数であり、職員定数とは異なります。」の文言を追記します。	反映
5	42, 43	計画職員数	最近の病院では事務部門の強化が経営改善に貢献するとのことで、他の病院でも取り組んでいると聞きます。しかし素案では、医師や看護師・助産師は増員される計画のようですが、医療技術部門は増員がなく、事務部門は減員される計画のようです。 高額な放射線治療機器が導入されましたが、運用に支障はないのでしょうか。事務職員による経営への貢献度や業務の負担などは検討されているのでしょうか。	人材確保及び適材適所への人事配置については、将来構想に掲げた「ビジョン」実現に向け、医療の質や患者満足の上を図る上で大変重要であると考えております。そのため、地域の医療ニーズや病院機能と診療体制に応じた人材の確保等については、必要に応じて検討したいと考えております。 また、医療技術部門についても、診療報酬改定等の医療政策の転換や医療環境の変化等を踏まえ、必要な場合は人員確保を検討します。事務職員等の減員は、「市民病院整備事業」終了によるものです。 なお、43ページ「(イ)計画職員数」の欄外に「職員数は、計画人員数であり、職員定数とは異なります。」及び「事務部門等の減員は、『市民病院整備事業』終了によるものです。」の文言を追記します。	反映

番号	ページ	該当箇所	お寄せいただいた意見	市の考え方	対応
6	56,57 71,72	情報発信件数 講座及び講演数	「公開医療講座」をもっと活発に開いて欲しい。他の病院では、ほぼ毎日実施しているところもあります。市民との直接交流にもなると思います。	「公開講座」は、市民との直接交流になるだけでなく、当院が進める「患者満足」や「社会貢献」の視点からも重要であることから、これまで以上に積極的に開催したいと考えております。	参考
7	74	将来構想の進捗 管理、点検審議 及び評価	「市民のための病院」という点からも、「運営委員会」のメンバーの過半数が公募市民で占められるような組織であってほしい。	当院では、病院事業の運営の基本的事項について審議するために「平塚市病院運営審議会」を設置しており、将来構想を進捗管理、点検審議及び評価いただく、院外の第三者による「外部点検」も、この審議会で行う予定となっております。 この審議会は、地域医療ニーズや医療政策や病院経営に関することなどのほか、専門的、学術的な視点からも幅広く意見をいただく必要から、次の委員構成としており、このうち公募市民は2人の選出となっております。 【平塚市病院運営審議会の委員構成】 (1) 市議会議員 2人 (2) 関係行政機関の職員 1人 (3) 医療団体又は薬剤師会の代表者 4人 (4) 学識経験者及び医療機関を利用する立場にある者 5人（公募市民2人を含む）	参考
8	79	パブリック コメントの実施	「KPIの評価」の流れの中で、「ウ『パブリックコメント』の実施」として、「自己点検及び外部点検」については「公表」し、市民の皆さんや利用者から評価に対する意見を求めることになっていますが、パブリックコメントで提出された意見によっては、評価結果を変更することも含め、意見を反映するという意味でしょうか。もし、評価結果を変更しないのであれば、「パブリックコメントの実施」ではないと思います。	「自己点検」及び「外部点検」は全て公表しますが、評価結果は変更せず、あくまでも結果に対する意見を求めるものです。 したがって、標題の「ウ『パブリックコメント』の実施」については、「ウ『自己点検』及び『外部点検』の公表」に訂正いたします。	反映